

# ■ 第 1 章

## 調査のあらまし

---

## 1.1 調査の目的

本調査は、三島市の大切な財産の一つである「自然」の現況を、既存資料調査と現地調査によって総合的に把握することを目的としました。

調査結果は総合的に、今後の自然環境の移り変わりを調べる出発点となり、将来の三島市の環境行政に生かされ、市民と共に良好な自然環境を保全していくための基礎資料となるものです。

## 1.2 調査の期間

平成 13 年(2001 年)10 月～平成 15 年(2003 年)3 月

## 1.3 調査の範囲

三島市を主な調査範囲としましたが、隣地で必要がある場合には調査をしました。

## 1.4 調査の内容

調査は、既存資料調査と現地調査を行いました。

既存資料調査では、三島市の社会環境・生活環境・自然環境の特性や、三島市内に生育・生息する植物・動物の種類数、三島内でみられる特異な地形・地質の内容等について調査を行いました。

現地調査は、植物、動物(哺乳類・鳥類・は虫類・両生類・魚類・昆虫類・水生昆虫類)、地形・地質(特異な地形・地質)について行いました。

## 1.5 報告書の内容

この報告書は、主に現地調査で確認された植物、動物、特異な地形・地質についてとりまとめました。

報告書には、難しい専門用語や、聞き慣れない名前の植物や動物などが出てきます。難しい専門用語にはアンダーラインを引いてあります。内容の詳細は、報告書の最後にある用語解説を参照してください。また、聞き慣れない名前の植物、動物、地形・地質、貴重な動植物などについては、表 1-5-1 に紹介する図鑑類等を参考にしてください。